

PHONIC

MAX250/MAX500

POWER AMPLIFIER



MAX 250



MAX 500

取扱説明書

MAX250/MAX500

POWER AMPLIFIER

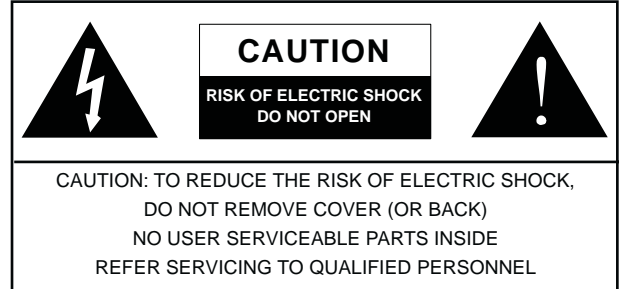
CONTENTS

基本性能	3
ご使用頂く前の準備	3
フロントパネル	4
リアパネル	5
仕様	6
接続例	7
ダイヤグラム	9

安全上のご注意

当製品を安全かつ正しくお使い頂く為に、「安全上のご注意」及びこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
お読み頂いた後は、保証書と一緒に大切に保存して下さい。

1. この取扱説明書に従ってご利用下さい。
2. 温度の高い場所(直射日光が当たる場所や暖房器具の側など)や、湿度の高い場所(水気の近くや雨中などの濡れる場所)でのご使用・保管はお止め下さい。
3. 当製品を改造・分解しないで下さい。
4. 当製品は精密機器です。強い振動や衝撃を与えると内部に異常をきたす恐れがあります。運搬、ご使用の際の振動や落下に十分ご注意下さい。
5. 長時間で使用されない時は、電源の元となる電源コードをコンセントから抜いておいて下さい。
(乾電池をご使用頂く製品は乾電池を取り外して下さい)
6. 100V 50/60Hzの定格電圧でのみご使用下さい。
7. 換気を必要とする機器は通気口を塞がない様にお気をつけ下さい。
8. 機器同士をケーブルで繋ぐ際は、全ての機器を繋ぎ終えた上で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる前に機器のボリュームが最小値になっていることを確認して下さい。
9. 電源コード及び接続部には負荷がかからない様ご注意下さい。
10. 修理が必要な場合は、ご購入頂きました販売店様へご連絡を頂き、修理依頼をお願いします。
保証書が無い場合は保証が適応されませんので、大切に保管して下さい。



このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。



このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

基本性能

- MAX250：各チャンネル120W 4Ω
- MAX500：各チャンネル 90W8Ω
- シグナル、クリップを表示するLEDインディケーター装備
- MAX500のフロントパネルには保護機能が作動したことを示すLEDインディケーター装備
- ショート回避システムを内蔵し、DC、温度の制御可能
- パワーアップミュート
- 入力端子：XLR端子、1/4"フォンジャック

ご使用頂く前の準備

- 1.電源をONにする際、ゲインコントロールを最少値にして下さい。ケーブル、接続部のダメージを防ぐことができます。正常に作動することが確認できるまで、ゲインコントロールは一気に上げず、徐々に上げて下さい。パワーアンプは高出力の為、スピーカーを破壊してしまう恐れがございますので、これら諸注意は必ずお守り下さい。
- 2.ヒューズが飛んだ際は、電気系統の電圧上昇からアンプを保護する為、電源が自動的にオフになります。何らかのトラブルが発生したと考えられる場合は、すみやかに販売店へご相談下さい。



フロントパネル

1. ゲインコントロール

チャンネル1、2のレベルコントロールを個別に行うことができます。ゲインの設定をする際は、ゲインを最少にし、雑音やスピーカーへのダメージを防ぐ為、徐々にゲインを上げて下さい。

2. プロテクト LED インジケータ (MAX500のみ)

電源ON、故障時に回路へのダメージを回避する機能が働いていることを示すLEDです。このLEDの点灯は保護機能が作動しているサインとなります。この際、コンディションが回復するまでの間は電源はOFFになります。

- **ラウドスピーカーの保護：**

故障時に、ピーク音によるスピーカーへのダメージを防ぐための回路が電源出力のセンサーによって、自動的に働きます。

- **ヒートシンクの動作保護：**

オーバーヒート時、正常の温度に下がるまで、自動的に動作が停止します。

- **ショート回避：**

ショート時、インピーダンスが低すぎる際にも、LEDが点灯します。

保護機能が作動し、機械のコンディションを正常に戻す為、電源のON,OFFが必要な場合もあります。

3. リミット/クリップ・インジケータ

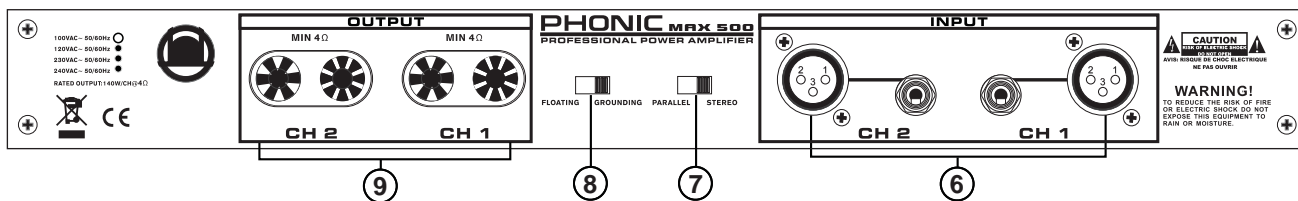
クリップ時に点灯します。このLEDは時折点滅することがありますが、それは故障ではありません。しかし頻繁に、かつ長時間点滅した場合、音量を下げ、外部機器から送信される信号レベルを下げて下さい。それでも点滅しつづける場合、出力ケーブルやスピーカーに異常がないかを確認して下さい。

4. シグナル・インジケータ

オーディオ信号を感知して点灯します。インジケータが反応する値は-26dBです。

5. 電源スイッチ

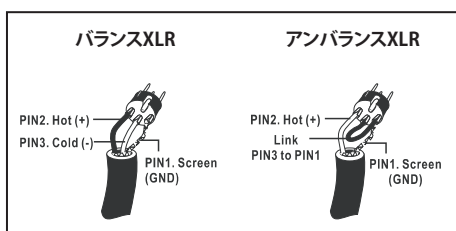
電源がONになると、左隣にあるLEDが点灯します。電源を入れる際は、必ずゲインが最小値になっていることを確認して下さい。



リアパネル

6. チャンネル1、2 入力

XLR、または1/4"フォンジャックを接続します。
XLRのバランス、アンバランスについては以下の図の通りです。



7. ステレオ/パラレルモード切替スイッチ

以下の2つのモードの切り替えを行います。

ステレオモード：

チャンネル1、2の信号は個別に処理されます。

パラレルモード：

1つの信号はチャンネル1、2のチャンネルで処理されます。
(両入力からのシグナルが両出力に送信されます)

※スイッチでモードを切り替える場合、必ず電源はOFFにしてから行って下さい。

8. グラウンドリフト・スイッチ

このスイッチを押すと、回路とシャーシグラウンドを分離することが出来ます。通常はこのスイッチを“GROUNDING”にしておきます。“FLOATING”に入れると、グラウンド上の衝突を回避することはできませんが、その場合、回路は他の部品のグラウンドに依存することになります。他の部品の基礎に欠陥があると、音質に影響を及ぼしたり、電気系統に故障が生じ、アンプにダメージを与えてしまう可能性があります。

安全を第一に考え、“GROUNDING”をオンしておくことを強くお勧めします。

9. バインディングポスト出力端子

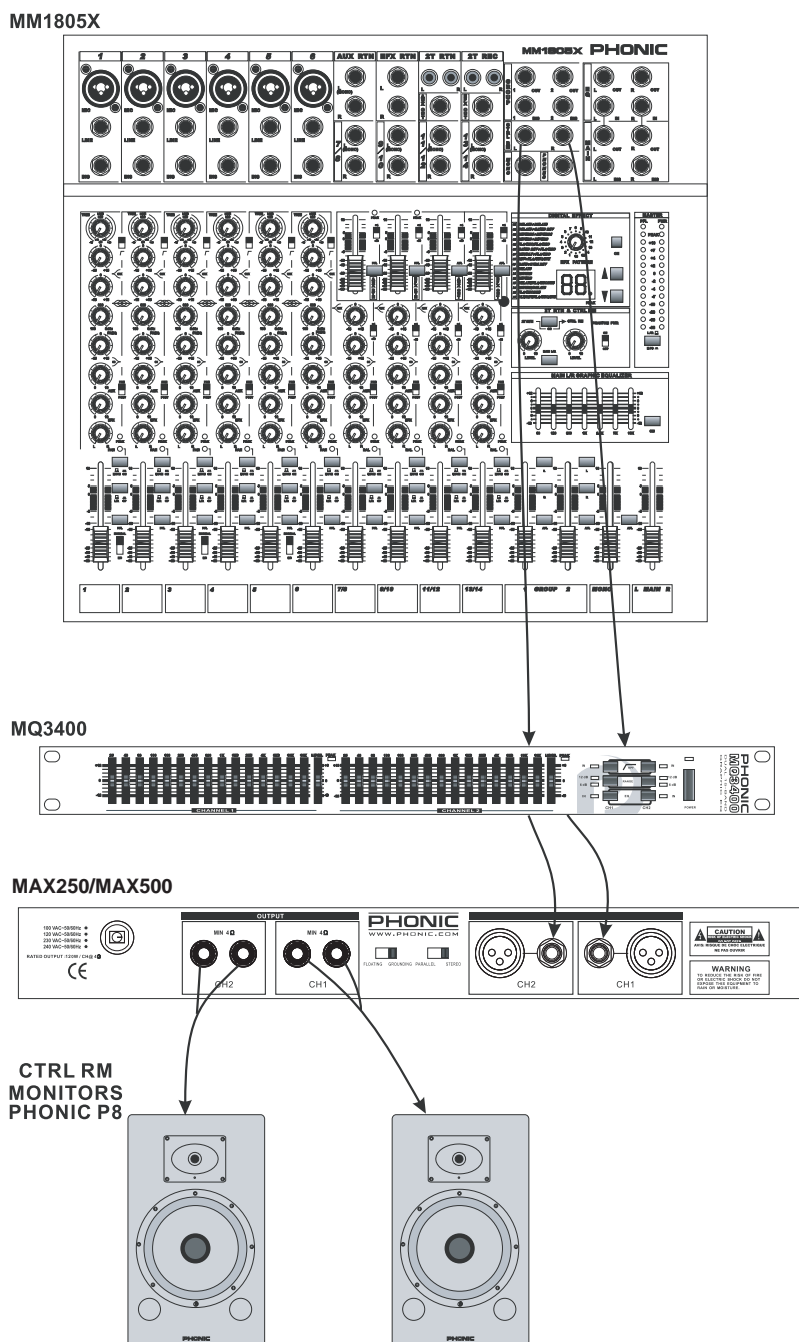
バナナプラグ、U字型端子、裸線に対応しています。U字型端子、裸線の場合、ワイヤーの束が緩まない様にしっかりと固定して下さい。

仕様

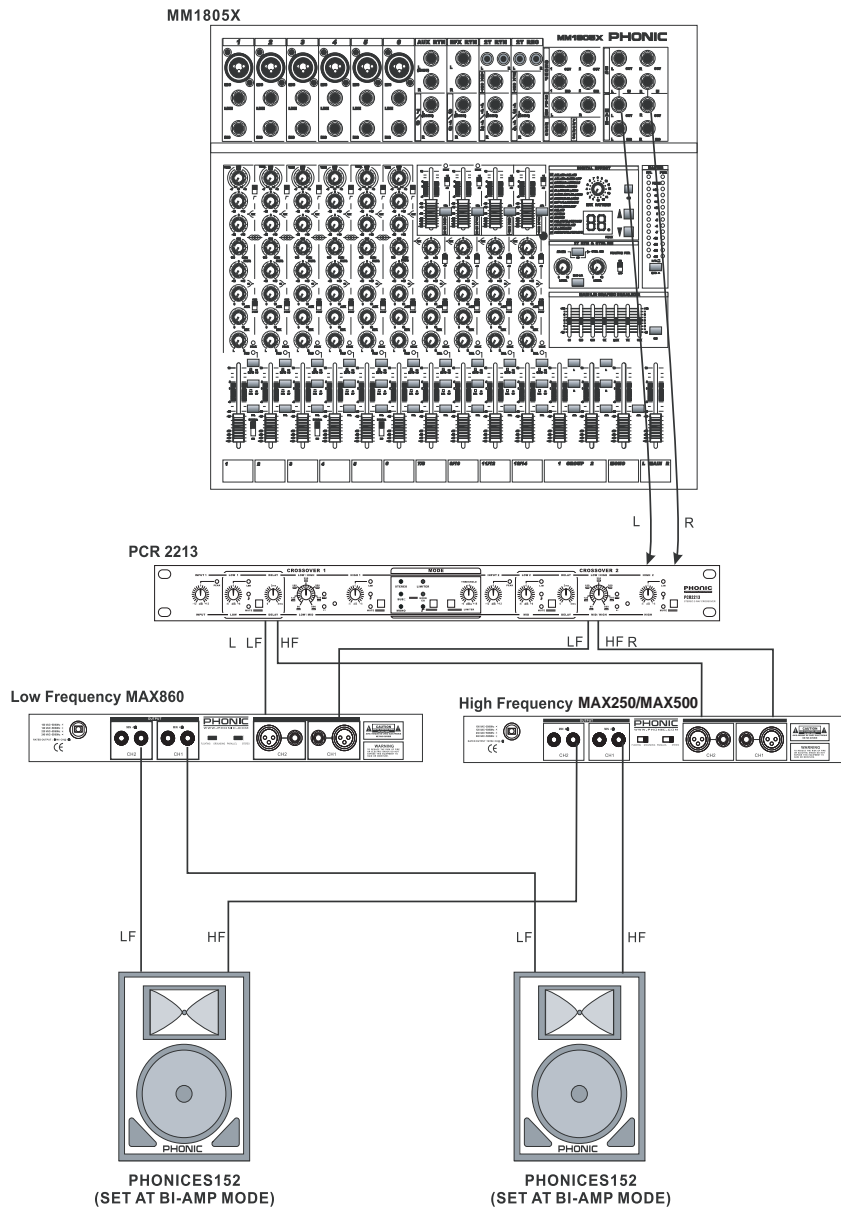
	MAX250	MAX500
ステレオモード	出力	
8Ω EIA 1kHz 0.1%THD	60W	90W
4Ω EIA 1kHz 0.1%THD	80W	120W
All Models		
出力	Class H	
入力感度 @ 8Ω	1.23V (+4dBu)	
歪み (SMPTE-IM)	<0.01%	<0.01%
ノイズ(unweighted 20 Hz - 20 kHz below rated output)	103 dB	103 dB
ダンピングファクター	>300 @ 8Ω	
周波数特性	20 Hz-20KHz, +0/-1dB; -3dB points: 5Hz-50KHz	
入力インピーダンス	20 K Ω balanced, 10 K Ω unbalanced	
冷却装置	Convection	
コネクタ	Input: XLR & 1/4" フォン; Output: 5-way binding posts	
インジケータ	Power: Blue LED; Signal: Green LED; Clip: Red LED	Power: Blue LED; Signal: Green LED; Clip: Red LED, Protect: Yellow
コントロール		
フロントパネル	CH1 & CH2 GAIN knobs with 41 detents	
リアパネル	Slide switches: Operation mode: Parallel, Stereo; Grounding / Floating	
回路保護	Short circuit, thermal, subsonic, RF protection, Output DC offset, Power on/off muting	
ゲイン	41x (30dB)	41x (30dB)
消費電力	80W	140W
大きさ (WxHxD)	482 x 44 x 250 mm	482 x 44 x 340 mm
重量	6.7Kg	7.85 kg

接続例

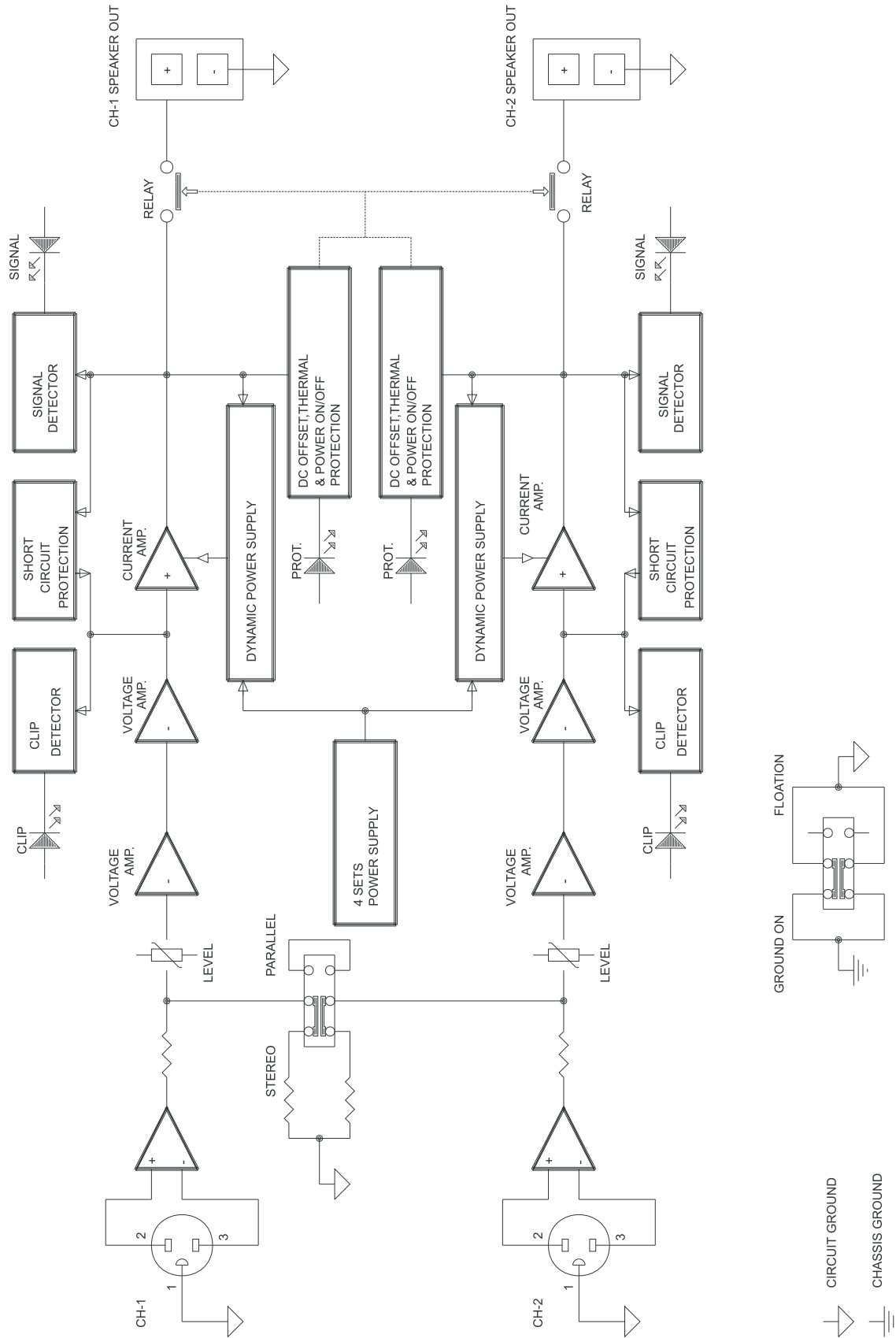
スタジオモニターとの接続



バイアンプモード接続



ダイアグラム



PHONIC
WWW.PHONIC.COM



PHONIC 正規輸入代理店
株式会社 キョーリツコーポレーション
www.kcmusic.jp/